

ぱーとな一

2009年5月
第89号

耳原総合病院の理念

耳原総合病院はこんな医療をめざしています

○ 安全・安心・信頼の医療

私たちは患者様とともに力を合わせて医療をすすめます

○ 無差別平等の医療

私たちは人権を尊重した医療をすすめます

○ 患者負担の少ない医療

私たちは室料差額はいただきません

○ 地域とともに歩む専門職の育成

人権感覚をもつ専門職を養成します

糖尿病教育入院のご案内

今回は、当院における「糖尿病教育入院」についてご案内させていただきます。

当院では、1984年から約25年間、2週間の合宿形式の糖尿病教育入院を行っております。現在は、1クール4名の患者様を受け入れております。医師、看護師、薬剤師、栄養士、運動トレーナー、ケースワーカーなど多くのスタッフが関わり、個々の患者様に応じた血糖コントロール方法を相談していきます。

＜当院糖尿病教育入院の内容(詳細は別紙のスケジュール表を参照下さい)＞

- ・ 血糖コントロールに必要な食事の摂り方の指導、調理実習
- ・ 運動療法のアドバイス、運動トレーナーと一緒に運動を实践
- ・ 糖尿病治療薬の見直し
- ・ 新規インスリン導入
- ・ 糖尿病合併症の評価(神経障害の評価、眼底評価のための眼科受診、腎機能評価、その他動脈硬化病変のスクリーニング)

調理実習



運動療法



新規インスリン導入指導

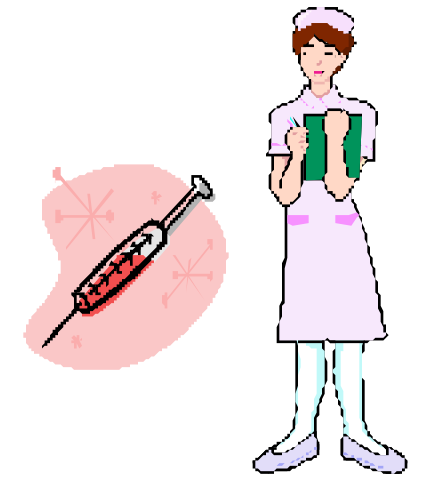
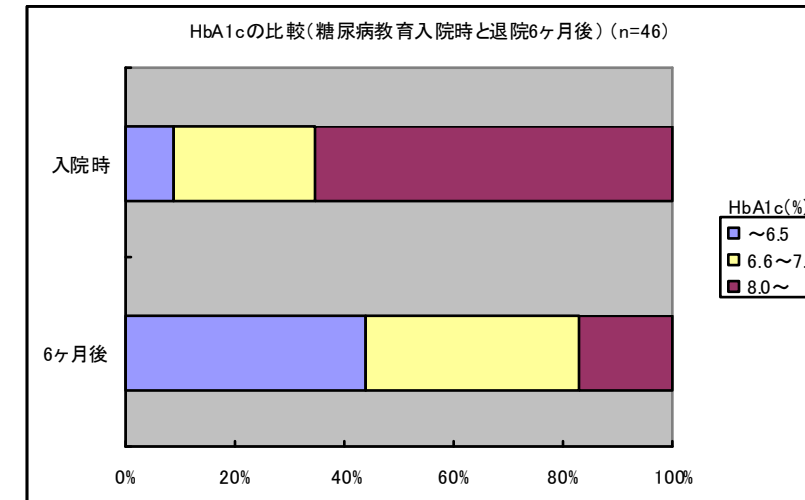


フットケア指導



＜糖尿病教育入院後の血糖コントロールの変化＞

2003年6月～11月に入院された患者様の入院時と退院6ヶ月後のHbA1cの変化です。糖尿病治療を総合的に見直すことにより、多くの患者様でHbA1cが改善しています。



＜教育入院数ヶ月後の患者様の声:電話による聞き取り調査＞

- ・ 糖尿病についてよく理解できた。
 - ・ 血糖コントロールがよくなり、インスリン離脱した。
 - ・ ゆっくりかんで食べるようになった。食事療法を守って、HbA1cが改善した。
 - ・ 運動効果があり、毎日10000歩歩いている。
- など、様々な声が寄せられています。

＜費用について＞

2週間の教育入院の入院費用は、3割負担の方で約10万円です(追加検査などにより費用が変動する場合があります)。*当院では入院時に高額療養費の申請をすすめております。

＜申込み方法＞

- ・ 糖尿病教育入院への申込みを希望される場合は、同封の申込み用紙を記載の上、当院地域医療室までFAXして下さい。

＜ご注意＞

- ・ 合宿形式(共同生活)での教育入院となるため、他の患者様とご協力頂けない場合は、教育入院に参加して頂けない場合があります。
- ・ 認知症等にて講義の理解が難しい場合、運動療法への参加が難しい場合など、教育入院への参加が困難である場合は、一般入院に切り替えさせて頂く場合があります。

耳原総合病院地域医療室
電話 072-241-0324
Fax ①072-241-0208
Fax ②072-241-0670

☆☆☆お電話で患者さまのご都合に合わせて予約いただけます。

折り返しFAXにて予約票をお送りします。☆☆☆

☆☆☆事前にカルテを準備してお待ちします。

カルテ作成に必要な情報をFAXして下さい。☆☆☆

☆☆☆予約当日、患者さまが受診の際

① 保険証②診療情報提供書③上記予約票をご持参下さい。☆☆☆